



京都府立鳥羽高等学校



スーパーグローバルハイスクール

**平成29年度SGH管理機関等連絡会
事例報告**

平成30年 1月19日

説明内容

1 はじめに

2 SGH概要

3 特徴的な取組

(1) 開発したカリキュラム

(2) 教材・評価方法

(3) 実践事例

4 研究開発の成果

5 管理機関としての取組

(1) 支援の取組や管理方法・体制

(2) 成果普及の取組

(3) 事業終了後の取組

1 はじめに

起源

1890年 京都府中学校 開校(日本最古の旧制中学校)

1900年 京都府第二中学校 開校

初代校長 中山再次郎(第一高等学校、東京帝大)



盛んな課外活動

- ・スキー
- ・硬式野球
- ・楽隊部

関西のスキー王

第1回全国中等学校優勝野球大会

日本のスクールバンドの草創期

現在

1984年 京都府立鳥羽高等学校 開校

課程：全日制、定時制

学科(全日制)：普通科、グローバル科

規模(全日制)：25学級、生徒数1000名

学校の強み

(1) 冷泉流和歌で培う言語力・表現力

→ 伝統・文化の正しい理解・継承・発展

(2) 地元グローバル企業の協力態勢

→ 海外で働く意味を考えさせる人づくり

(3) 千年の都「京都」の智恵

→ 歴史と価値観、日本と世界を考える地の利

2 SGH概要



京都府立鳥羽高等学校SGH概要

ソーシャル・イノベーションで挑むグローバル・リーダーの育成

～育む5つの力 価値創造力・協働力・突破力・寛容力・教養力～

課題研究『ソーシャル・イノベーション』

主題

総合的な学習の時間「イノベーション探究ⅠⅡⅢ」等を通して、「京」の
 知恵を再発見し、グローバル・イシューに挑む新しい価値を創造する。

領域

地域研究領域

「京」と世界について地域課題・価値を発見し課題解決
 京都ベンチャースピリッツの涵養

伝統・文化領域

千年の都「京」の智の
 価値再発見と創造

健康・スポーツの価値を認識し、世界を
 繋ぎ明日への力を創造

健康・スポーツ領域

生徒の主体的な学び

イノベーション探究
 ⅠⅡⅢの展開

1年次	価値の発見・発信：地域遺産創造プログラム	京都フィールドワーク
2年次	価値の研 磨：グローバル・ジャスティスプログラム	海外フィールドワーク
3年次	価値の普遍化：ユニバーサルプログラム	鳥羽グローバル・サミット

多様で実践的な学び

グローバル・コンピテンシーを高める教科横断的科目

グローバル・コミュニケーション ・英語で身につける戦略的スキルと多文化対話力（全学年）

ソーシャル・インテリジェンス ・ICTスキルと社会学的リテラシーの向上

京都の風土・世界の風土 ・多角的にとらえる文化の多様性と複合性

新しい視座と高い言語能力を確立する戦略

京都府海外サテライト校留学 ・英語圏に設置した中等教育機関での中期留学を単位認定

海外インターンシップ ・連携企業と短期雇用契約を結び海外事業所等でインターンシップ

海外勤労者帰国子女特別入学者選抜 ・グローバルマインドをさらに伸ばす環境と実践

海外教育機関

- ・シンガポール国立大学
- ・タイ国立コンケン大学
- ・台南第一高級中学
- ・上海体育学院
- ・上海体育運動技術学院
- ・京都府海外サテライト校

企業・団体

- ・稲盛財団
- ・堀場製作所
- ・片岡製作所
- ・カルピス株式会社
- ・日本スポーツ振興センター
- ・国立スポーツ科学センター
- ・JICA関西

SGH

- ・京都府立嵯峨野高等学校
- ・名城大学附属高等学校

グローバルネットワーク京都校

- ・京都府立高等学校 7校

SGU

- ・京都大学
- ・京都工芸繊維大学
- ・大阪大学
- ・立命館大学

学術機関

- ・京都教育大学
- ・京都府立大学
- ・龍谷大学
- ・京都府立図書館
- ・京都府立総合資料館
- ・けいはんなオープンイノベーションセンター
- ・京都府京都文化博物館

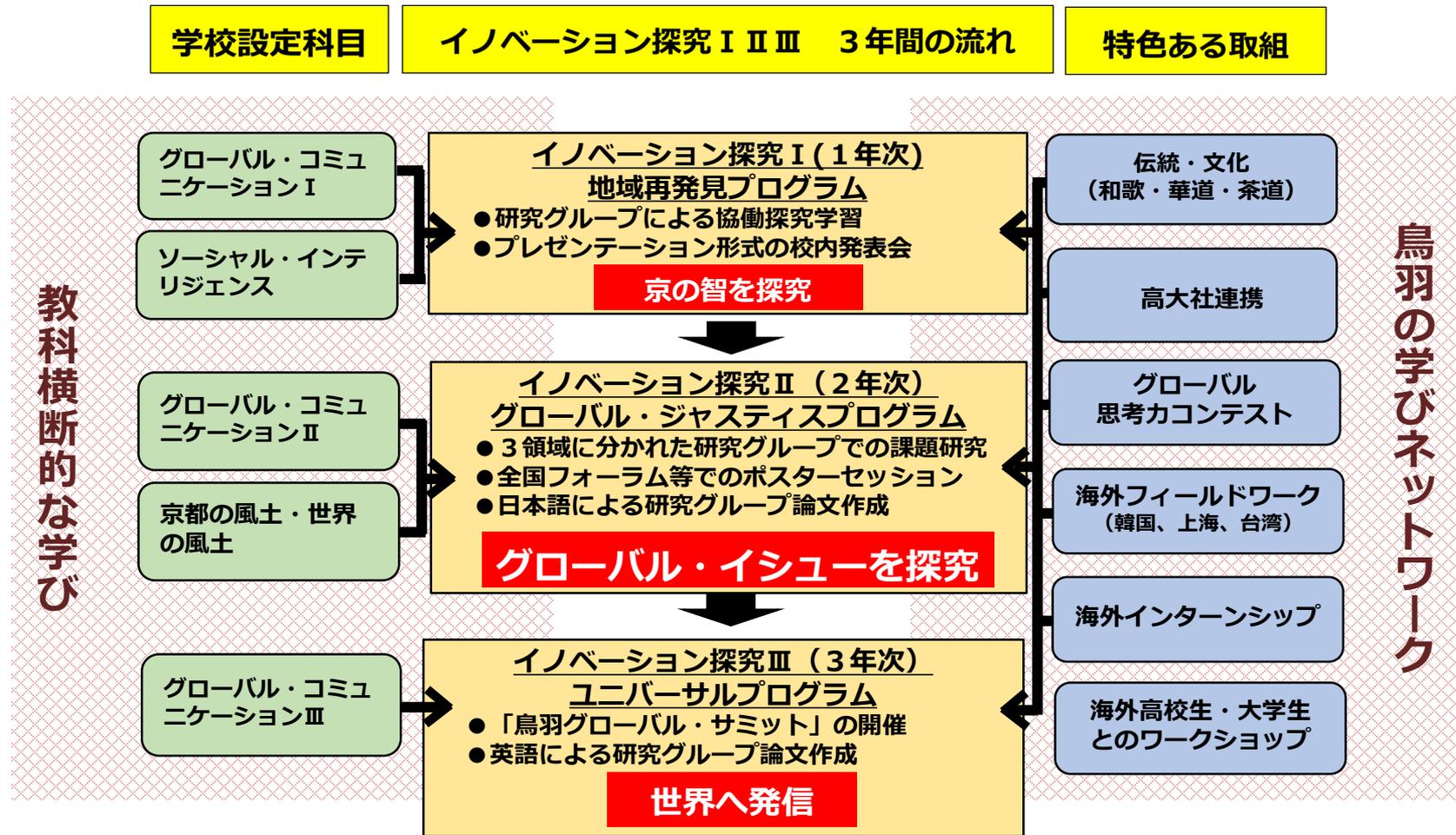
伝統・文化

- ・冷泉家時雨亭文庫
- ・裏千家
- ・未生流笹岡
- ・山ばな平八茶屋
- ・亀屋陸奥
- ・墨申堂

リベラルアーツ教育

「鳥羽の学びネットワーク」～学びの質・深まりを強化～

3(1) 開発したカリキュラムの特徴



グローバル・リーダーの育成をめざして

専門学科「グローバル科」

- 探究活動をとおした課題解決能力の育成
- 幅広い教養と深い専門性
- 理系・文系ともに難関国公立大学進学や海外の大学への進学
- 週35時間授業（土曜授業含む）

21世紀型教育で、
グローバル・リーダーとしての資質を育む

3(1) 開発したカリキュラム②

平成29・30年度入学生 専門学科「グローバル科」

平成29・30年度入学生 専門学科「グローバル科」教育課程

単位数		5										10					15					20					25					30					35																																												
年次																																																																																	
1		国語総合					現代社会					総合数学					数学Ⅱ 化学基礎					体育 保健					音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ					総合英語					グローバル・コミュニケーションⅠ					家庭基礎					ソーシャル・インテリジェンス					第2外国語					イノベーション探究Ⅰ					LHR																			
	G理	現代文B 古典B					京都の風土 世界の風土					数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学B					生物基礎 地学基礎					物理基礎 生物基礎					物理G 生物G					化学G					体育					保健					芸術G 家庭G					英語理解					グローバル・コミュニケーションⅡ					第2外国語					イノベーション探究Ⅱ					LHR									
2	G文	現代文G					古典G					世界史B 日本史B					京都の風土 世界の風土					数学Ⅱ					数学B					地学基礎					生物基礎					体育					保健					芸術G 家庭G					英語理解					グローバル・コミュニケーションⅡ					第2外国語					イノベーション探究Ⅱ					LHR				
	G理	現代文B 古典B					地理B					数学Ⅲ					数学探究Ⅲ					化学G					物理G 生物G					体育					英語理解					グローバル・コミュニケーションⅢ					イノベーション探究Ⅲ					LHR																													
3	G文	現代文G					古典G					世界史B 日本史B					歴史探究					倫理					政治・経済					数学探究Ⅱ					理科探究					体育					英語理解					グローバル・コミュニケーションⅢ					イノベーション探究Ⅲ					LHR																			
	G理	現代文B 古典B					地理B					数学Ⅲ					数学探究Ⅲ					化学G					物理G 生物G					体育					英語理解					グローバル・コミュニケーションⅢ					イノベーション探究Ⅲ					LHR																													

※ 第2外国語…中国語、韓国語、フランス語より選択

3(2) 教材・評価方法

イノベーション探究Ⅱ

- ① 研究計画書 Ver. 2 = ポスター
- ② ポスターセッション評価票
- ③ 研究計画書 Ver. 3 = 研究ノート

3(2) ① 研究計画書 Ver.2 = ポスター

研究計画書 Ver.2 =
研究プロセスを「見える
化」したポスター

当初のリサーチクエストン(RQ)

掘り下げるためのRQ
= 当初のRQを明らかにするための小さな問い

具体化されたRQ

ポスターセッション（中間発表会）
後に、評価を反映させて
研究計画書 Ver.3に昇華させる。

平成29年度 イノベーション探究 研究計画書 Ver.2 = ポスター

グループ	-
------	---

作成月日	
------	--

組	番	氏名

0. 最初の研究テーマ=主題 (Subject area)

--

1. 研究の動機・問題の背景

--

2. 当初のリサーチクエストン (RQ) = トピック (Topic) を疑問文にしたもの

--

3. 掘り下げるためのRQ = 当初のRQを明らかにするための小さな問い *研究グループのメンバー数以上

RQ① 検討結果 出典	RQ② 検討結果 出典
-------------------	-------------------

RQ③ 検討結果 出典	RQ④ 検討結果 出典
-------------------	-------------------

RQ⑤ 検討結果 出典	RQ⑥ 検討結果 出典
-------------------	-------------------

4. 具体化されたRQ

--

5. 現時点での仮説 (4に対する暫定的な答え)

--

6. 研究グループ論文作成に向けた今後の予定 *ポスターセッションでの発言や発表をふまえて

11月16日実施ポスターセッション（課題研究中間発表）の後に記入

7. 最終的な研究テーマ=ポスターの表題 *40字程度で、問い (RQ) と、現時点での暫定的な答え (仮説) を含むこと

--

3(2) ②ポスターセッション評価票

平成29年度 イノベーション探究Ⅱ ポスターセッション評価票

評価者	
-----	--

研究グループ	-
--------	---

		発見力	分析力・調査力		表現力・協働力		
		研究の動機・問題の背景	タイプBのリサーチクエスト	更新されたタイプAのリサーチクエスト	現時点での仮説	最終的な研究テーマ	発表と質疑応答
関連する項目番号		1	3	2→3→4	5	7	全般
評価基準	A：完璧 (Great)	現状を十分に理解し、グローバルな視点で多角的に研究を進めようとしている。	現状を確認・分析するための適切な問いを立て、根拠に基づいた検討ができています。	研究テーマについての理解が十分深まった上で問いを立てています。	「因果」あるいは「比較」を含んだ仮説になっていて、因果関係や比較に説得力がある。	問い (RQ) や答え (仮説) が明確に読み取れ、説得力がある文章になっている。	グループの全員が発表と質疑応答に参加し、質疑応答によって、参加者の知的好奇心が一層刺激されている。
	B：合格 (Good)	現状を理解し、グローバルな視点で研究を進めようとしている。	現状を確認・分析するための適切な問いを立て、検討ができています。	研究テーマについての理解が深まった上で問いを立てています。	「因果」あるいは「比較」を含んだ仮説になっている。	問い (RQ) や答え (仮説) が読み取れる文章になっている。	発表と質疑応答を、グループ内で役割分担して行うことができています。
	C：がんばろう (Needs Work)	現状の理解が不十分で、一面的な研究になっている。	現状を確認・分析するための適切な問いを立てられていない。	研究テーマについての理解が深まっていない。	「因果」も「比較」も含まない仮説になっている。	問い (RQ) や答え (仮説) が読み取れる文章になっていない。	発表と質疑応答における役割分担があいまいで、一部の人が行っている。
	評価記入欄 A～C						
よりよい研究にするための助言や提案、感想があればお願いします。							

3(2) ③ 研究計画書 Ver.3 = 研究ノート

平成29年度 イノベーション探究Ⅱ 研究計画書 Ver.3 = 研究ノート に向けて

研究 グループ	-	組 番氏名	
		組 番氏名	

0. 最初の研究テーマ=主題 (Subject area)

--

1. 研究の動機・問題の背景… 研究ノート第1章

--

2. 当初のリサーチクエスション (RQ) = トピック (Topic) を疑問文にしたもの… 研究ノート第1章

--

3. 掘り下げるためのRQ… 研究ノート第2章 *研究グループのメンバー一致以上

RQ① 研究ノート第2章第2節 (1) RQ② 研究ノート第2章第2節 (2)

検討位置 出典:

検討位置 出典:

RQ③ 研究ノート第2章第2節 (3)

検討位置 出典:

RQ④ 研究ノート第2章第2節 (4)

検討位置 出典:

RQ⑤ 研究ノート第2章第2節 (5)

検討位置 出典:

RQ⑥ 研究ノート第2章第2節 (6)

検討位置 出典:

4. 具体化されたRQ… 研究ノート第3章

--

5. 仮説… 研究ノート第3章

--

6. 仮説検証に向けた展望… 研究ノート第3章

--

7. 最終的な研究テーマ… 研究ノート表題 *40字程度で、問い (RQ) と、現時点での暫定的な答え (仮説) を

--

研究計画書 Ver. 3
= 研究ノートに向けて

研究ノート
第1章に

研究ノート
第2章に

研究ノート
第3章に

研究ノート
表題に

3(3)実践事例① SGH海外研修 海外の高校・大学との協働研究

韓国・ハンヨン高校との協働研究

日韓共通の課題である伝統家屋の保存問題について、京都の町家・韓国ソウルの北村をフィールドとした協働研究を実施



<実施先、連携先>

◇韓国・ソウル

ハンヨン高校

◇中国・上海

復旦大学、復旦大学附属中学、
上海市嘉定一中

◇台湾

國立台湾大学、台中市台中工業高級中等学校

◇シンガポール

NUS（シンガポール国立大学）

3(3)実践事例②

京都・海外を結んだインターンシップ

片岡製作所 海外インターンシップ

- 事前学習として、京都本社にてインターンシップを実施
- 海外事業所でのインターンシップ、現地職員へのインタビュー調査等を実施



<実施先、連携先>

- ◇ 韓国・ソウル **株式会社韓国片岡、一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR)**
- ◇ 中国・上海 **上海片岡貿易有限公司、村田機械上海工場、オムロン上海、日本貿易振興機構(JETRO)**
- ◇ 台湾 **台湾片岡股份有限公司**
- ◇ シンガポール **ホリバ・インスツルメンツ、シンガポール政府観光局、**
外務省在シンガポール JAPAN CREATIVE CENTRE

4 研究開発の成果について

「仮説検証のための指標」

- 研究開発の3つの仮説に基づく指標設定
- アンケート・外部検定等による多様な評価
- 4点満点の総合評価による定量化

仮説検証のための指標

仮説 1	総合的な学習の時間「イノベーション探究ⅠⅡⅢ」及び学校設定科目「グローバル・コミュニケーションⅠⅡⅢ」等は、課題の発見・分析能力、多文化協働による主体的な課題解決能力を高める手段として有効である。
-------------	--

分野	評価規準（SGH対象生徒に占める割合） 25%未満を1、25%以上を2、50%以上を3、75%以上を4と評価	平成27年度		平成28年度			
		Aのみ		Aのみ		A・B	
		数値%	評価	数値%	評価	数値%	評価
1 イノベーション探究Ⅰ	校内課題研究発表会でA評価	33.2	2	43.8	2	97.3	4
	授業アンケート各項目「できた」の平均	33.0	2	31.3	2	91.8	4
2 イノベーション探究Ⅱ	ポスターセッションでA評価	—	—	29.9	2	80.8	4
	日本語論文がA評価	—	—	30.9	2	92.6	4
	授業アンケート各項目「できた」の平均	—	—	23.2	1	87.4	4
3 イノベーション探究Ⅲ	英語論文がA評価	—	—	—	—	—	—
	授業アンケート各項目「できた」の平均	—	—	—	—	—	—
4 グローバル・コミュニケーションⅠ	授業アンケート各項目「そうである」の平均	23.3	1	17.4	1	80.1	4
5 グローバル・コミュニケーションⅡ	Socratic Seminar でA評価	—	—	26.6	2	87.3	4
	授業アンケート各項目「そうである」の平均	—	—	29.6	2	83.8	4
6 グローバル・コミュニケーションⅢ	授業アンケート各項目「そうである」の平均	—	—	—	—	—	—
7 ソーシャル・インテリジェンス	授業アンケート各項目「あてはまる」の平均	43.7	2	45.5	2	90.8	4
8 京都の風土・世界の風土	授業アンケート各項目「そうである」の平均	—	—	23.3	1	87.1	4

仮説1の総合評価（4点満点）	1.75	1.70	4.00
----------------	-------------	-------------	-------------

仮説2

京都府海外サテライト校への中期留学等の方策は、新しい視座と高い言語能力を確立する上で有効である。

資格取得と外部模試についてはB評価を設定していないため、A・B欄にAと同様の評価のみを記載した。

分野	評価規準（SGH対象生徒に占める割合） 25%未満を1、25%以上を2、50%以上を3、75%以上を4と評価	平成27年度		平成28年度			
		Aのみ		Aのみ		A・B	
		数値%	評価	数値%	評価	数値%	評価
1 中期留学	参加者に占める英検準2級以上取得者割合	100	4	66.7	3	—	3
2 海外研修 (インターンシップを含む)	参加者に占める英検準2級以上取得者割合	50.0	3	44.0	2	—	2
	国別アンケート各項目「そうである」の平均	81.5	4	76.6	4	93.1	4
3 海外の大学生とのワークショップ	参加者アンケート各項目「そうである」の平均	63.3	3	39.6	2	87.6	4
4 実用英語技能検定(英検)	H27入学生(現2年)準2級以上(対象80名)	17.5	1	53.8	3	—	3
	H28入学生(現1年)準2級以上(対象125名)	—	—	26.4	2	—	2
5 GTEC	H27入学生(現2年)A2(485点)以上(対象80名)	23.8	1	43.8	2	—	2
	H28入学生(現1年)A2(485点)以上(対象123名)	—	—	19.5	1	—	1
6 外部模試	H27入学生(現2年)A2以上(対象80名)	26.3	2	29.1	2	—	2
	H28入学生(現1年)A2以上(対象125名)	—	—	10.4	1	—	1
仮説2の総合評価(4点満点)		2.57		2.20		2.40	

仮説3

鳥羽の学びネットワークを活用したリベラルアーツ教育は、広い視野でグローバル社会を俯瞰できる教養力を育成するために有効である。

分野	評価規準（対象者に占める割合） 25%未満を1、25%以上を2、50%以上を3、75%以上を4と評価	平成27年度		平成28年度			
		Aのみ		Aのみ		A・B	
		数値%	評価	数値%	評価	数値%	評価
1 JICA関西	参加者アンケート各項目「そうである」の平均	45.2	2	60.0	3	95.3	4
2 高校生ビジネスプラン・グランプリ	参加者アンケート各項目「そうである」の平均	データなし		55.0	3	96.0	4
3 グローバル思考力コンテスト	アンケート各項目「そうである」の平均	データなし		31.4	2	85.2	4
4 生徒アンケート（1月）	1・2年のQ19、Q20で「そう思う」の平均	42.5	2	46.8	2	81.3	4
5 教職員アンケート（1月）	各項目「思う」の平均	8.3	1	41.5	2	77.8	4
6 学校経営計画	学習指導領域「十分達成できた」の平均	4.2	1	4.2	1	70.4	3
仮説3の総合評価（4点満点）		1.50		2.17		3.83	

「1人1役SGH」 → 教職員・学校とも変容①

■ 回答方法 4思う 3やや思う 2やや思わない 1思わない 0わからない

質問	内容	H28.1月	H28.7月	H29.2月	H29.7月	過年7月
		平均値	平均値	平均値	平均値	増減
①	学校全体として体制を整え、組織的に取り組んでいると思いますか。	2.0	2.8	3.2	3.2	0.4
②	SGH事業の実施により、御自身の意識の変容がみられましたか。	2.7	2.5	3.0	3.1	0.5
③	教育課程の編成は、5つの力を育てるのに適切だと思いますか。	1.4	2.1	2.9	3.0	0.8
	※ 育む5つの力…価値創造力・協働力・突破力・寛容力・教養力					
④	イノベーション探究ⅠⅡの取組によって、現代社会に対する関心と深い教養、論理的思考力、批判的思考力、コミュニケーション能力、問題解決能力、行動力を育成していると思いますか。	1.8	2.2	3.1	3.1	1.0
⑤	SGHによる取組が、課題の解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業になっており、学校全体の授業改善になっていると思いますか。	1.9	2.3	2.8	3.0	0.7
⑥	外国語教育に関する取組は、課題研究との関連性が明確であり、研究課題に取り組むために必要な能力を向上させるための効果的な取組となっていると思いますか。	1.2	1.9	2.5	2.9	0.9
⑦	英語等も含めたグループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、探究型学習、またフィールドワークや成果発表等のための海外研修等が、課題研究を実施するための効果的な取組となっていると思いますか。	2.3	2.7	3.0	3.2	0.5

「1人1役SGH」 → 教職員・学校とも変容②

■ 回答方法 4 思う 3 やや思う 2 やや思わない 1 思わない 0 わからない

質問	内容	H28.1月	H28.7月	H29.2月	H29.7月	過年7月
		平均値	平均値	平均値	平均値	増減
⑧	地域や学校の特性を生かした鳥羽の学びネットワーク等の取組は、課題研究を中心とした学校全体の取組として効果的に行われていると思いますか。	2.1	2.2	2.8	3.1	0.9
⑨	次の3つの仮説に基づく成果や課題の分析が適切に行われていると思いますか。	1.1	1.9	3.0	3.1	1.2
	① 総合的な学習の時間「イノベーション探究ⅠⅡⅢ」及び学校設定科目「グローバル・コミュニケーションⅠⅡⅢ」等は、課題の発見・分析能力、多文化協働による主体的な課題解決能力を高める手段として有効である。					
	② 京都府海外サテライト校への中期留学等の方策は、新しい視座と高い言語能力を確立する上で有効である。					
③ 鳥羽の学びネットワークを活用したリベラルアーツ教育は、広い視野でのグローバル社会を俯瞰できる教養力を育成するために有効である。						
⑩	校外向けの発表会や説明会・HP・パンフレット等を用いて、研究成果の普及に積極的に取り組んでいると思いますか。	1.7	3.1	3.6	3.6	0.5
全平均(①～⑩)		1.8	2.4	3.0	3.1	0.7

スーパーグローバルハイスクール

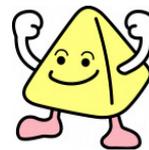
平成29年度SGH管理機関等連絡会 事例報告

平成30年1月19日



京都府教育委員会

府立高校特色化推進プラン



特色化を進める10の柱

- ①質の高い教育
- ②教職員の資質向上
- ③府民の信頼を得る学校運営
- ④徹底した進路保障
- ⑤修学の支援
- ⑥部活動の充実
- ⑦土曜日の活用
- ⑧多様な人間力の育成
- ⑨発信力・広報力の強化
- ⑩各校独自の施設設備の整備

特色化を進める10の柱と方向性

府立高校全体をレベルアップするための仕組み作り

グローバルな視点を持ち、
国際社会に発信できる
人材の育成

グローバルネットワーク京都(9校)

山城・鳥羽・洛西・東宇治・菟道・城南菱創・西城陽・園部・峰山

スペシャリストネットワーク京都(6校)

京都すばる・南丹・農芸・綾部(東)・工業・海洋

社会・経済構造の変化に
対応する真の職業人
(スペシャリスト)を育成

独創的な科学研究により
世界をリードできる
人材の育成

スーパーサイエンスネットワーク京都(9校)

洛北・嵯峨野・桂・桃山・南陽・亀岡・福知山・西舞鶴・宮津

京都フロンティア校(28校)

清明・鴨沂・北稜・朱雀・洛東・北嵯峨・北桑田・東稜・洛水・向陽・乙訓・西乙訓・城陽・京都八幡・久御山・田辺・木津・須知・綾部・福知山(三和)・大江・東舞鶴・東舞鶴(浮島)・宮津(伊根)・加悦谷・網野・網野(間人)・久美浜

※地域創生推進校…特に地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校

学校が自ら設定した
テーマに基づく
先進的な取組を支援

グローバルネットワーク京都の取組

持続可能な国際社会 への展望

鳥羽(SGH)

ソーシャル・イノベーション
で挑む
グローバル・リーダーの育成

山城

山城アカデミックプロジェクト
～Seize the Day～

峰山

国際感覚をもって社会に
貢献できる生徒の育成

洛西

グローバルな視点に立った
共生社会の構築
～日本・国際社会のリーダー育成～

園部

探究・共同・表現
～学びを深める～

東宇治

なぜクールジャパンなのか
～日本の文化を探究・理
解し、発信する～

西城陽

Change myself,
Change the world

菟道

チーム菟道でUJI(宇治)
から世界に羽ばたく

城南菱創

グローバルな視点に立った
リーダーの育成
Think globally, act locally

グローバルネットワーク京都の取組

産官学連携プログラム・論文コンテスト 英語によるプレゼン、ポスターセッション

- ・経済団体や国際貢献団体等による講義と問題解決セッション
- ・大学教授や新聞記者等による論文作成講座
- ・高校生対象の研究論文コンテスト

論文コンテストに向けての取組

論文提出

外部審査員による論文審査

国際社会と日本についての研究
国際社会に関する提言作成

グローバルネットワーク京都交流会
(ポスターセッション・英語によるプレゼンテーション・論文表彰など)
本年度は2月3日(土)京都工芸繊維大学にて開催予定

府立高校生の夢★を叶える

確かな学力を身につけるための支援事業

- 府立高校実力テストの実施
- 府立高校「セカンドラーニング教室」設置
- 基礎学力補習、進路補習、学習合宿
- 大学連携教育プログラム
- 大学生教育ボランティア活用事業

明日の京都を担う高校生育成支援事業

- 主権者としての高校生育成支援事業
- 新入生アシストセミナー
- 社会的素養育成支援事業
- わたしの未来づくり支援事業
- 高校生地域とつながる事業

グローバル人材育成支援

○府立高校生グローバルチャレンジ事業

- ◆エディンバラ、オーストラリア等での短期語学研修への一部補助

○府立高校海外サテライト校事業

- ◆現地での学習を履修単位として認定するなど、安心して留学（2～4ヶ月程度）できる環境の確保と一部補助

○府立高校生グローバル文化カフェ事業

- ◆教育旅行等で訪日した外国人高校生等との「おもてなし文化交流」



伝統文化・京の文化力

○高校生伝統文化事業

- ◆京都府にゆかりの深い茶道、華道、古典を通しての伝統文化学習

○高校生「京の文化力」推進事業

- ◆文化部の育成、京都府高等学校総合文化祭の開催等